

災害は、いつ来るかわからないから

地震、大雨、火災などの災害は、いつ来るかわかりません。だからこそ、いつ災害が来ても対応できるよう、日頃から備えておく必要があります。市内でも、各種災害に備える活動が行われました。

皆さんも、もしもの時にどのように動くか、どのように情報を得るかなどを確認し、防災への意識を高めましょう。

災害時はFM いずのくにで情報を発信！

災害時は正確な情報が何より大切。市からの情報をFM いずのくにでも放送します。

※FM いずのくにでは市の情報を毎日発信。パソコン、スマートフォンでも聴くことができます。



火災時の連携を確認

5月22日 消防団と田方中消防署が中継訓練

火災時の放水での連携を確認するため、伊豆の国市消防団と田方中消防署が、千歳橋南條側河川敷で中継訓練を行いました。

消防署員が中継時の注意点について説明をした後、ポンプ車で中継して放水を実施。無線で連絡を取り、実際の火災を想定しながら、動作を一つ一つ確認しました。

◀ホースを展開して中継を行う消防団員

見聞きし、感じたことを報告

5月25日 被災地派遣職員の報告会を開催

4月14日に発生した平成28年熊本地震に伴い、本市から被災地に派遣した職員の帰庁報告会を、伊豆長岡庁舎で開催しました。

派遣した2人の職員が、実際に目にした様子や体験した内容などを報告。また、避難所運営や正確な情報発信など、予想される大地震に備え、必要になる対策について説明しました。

スクリーンを用いて説明する市職員▶



出水期の到来を前に

5月29日 狩野川流域水防演習を実施

水防技術の確認および向上、水防活動への意識を高めることを目的に、狩野川流域水防演習を千歳橋南條側河川敷で行いました。

参加した市内各地区の自主防災会や狩野川流域自治体関係者らは、土のう作りや土のう積みなどを班ごとに行い、風水害の被害を最小限にするための技術を確認しました。

◀土のうを作る参加者



「星の花号」本格運行開始

5月28日 「星の花号」本格運行出発式を開催

立花台・星和地区と伊豆長岡駅を結ぶ予約型乗合タクシー「星の花号」の本格運行が5月30日から開始。それに先駆け、出発式を立花台区公民館で開催しました。

関係者あいさつや事業概要説明の後、「星の花号」を示すシートを付けたタクシーが、多くの区民や関係者に見守られながら公民館から出発しました。

◀見守られながら出発する「星の花号」

地元の魅力を詰めて改装

6月1日 「伊豆のへそ」がリニューアルオープン

「みんなのハワイアンズ」に隣接する道の駅「伊豆のへそ」がリニューアルオープンしました。

木材を多用した広々としたスペースで、施設面積は従来の約3倍。喫茶スペースでは地場産の卵を使用したバームクーヘン、地ビールソフトクリームなどが楽しめるほか、土産物コーナーではオリジナル商品を多数取り揃えています。

独特なデザインの施設内部▶



新プールで待望のプール開き

6月3日 葦山小プールの竣工式を開催

葦山小の屋外プール改築工事完了に伴う竣工式を行いました。関係者あいさつやテープカットのほか、児童代表として木内彪凱君があいさつ。「6年生はあと1年しか使えないけれど、今年はもっと長く泳げるようになりたい」と話しました。

式の後にはプール開きが行われ、まだ冷たい水中、6年生が元気に泳いでいました。

◀プール前で代表者によるテープカット



息を合わせ、みんなでジャンプ！

6月12日 伊豆の国市子ども会大縄大会が開催

市子ども会行事、第12回大縄跳び大会が長岡体育館で開催されました。同大会は、スポーツを通して市全体の子どもの交流と、活動の活発化を図ることを目的としています。

参加した小学1年生から6年生の子どもたちは、日頃の練習の成果を存分に発揮。記録を更新すると大きな歓声を上げ、喜び合っていました。

子どもたちのかけ声と声援が響く長岡体育館▶